

中生涯学習センターの講師対応報告



名古屋自然保護官事務所は、11月30日(金)になごや環境大学の「生物に目を向けて～私たちの環境を生物多様性から考える～」という教育講座を受講された方々を対象に「藤前干潟の現状と多様な生物」に関する講義を行いました。

本講座を主催する中生涯学習センターでは、市民の方々に環境問題について広く考えていただくことを目的に、なごや環境大学の教育講座の一環として「生物多様性」をテーマに全5回の講座を行う予定です。これまで、ホタルやカブトムシなどの都市に生きる虫や昆虫の多様性から見た身近な環境、絶滅危惧植物から環境を見つめるという講義が行われてきました。

今回は第4回目の講義で「藤前干潟で生物多様性を考える」というテーマで講座を開きました。

講義内容は、藤前干潟とはどのような場所なのか、多様な生物の紹介、藤前干潟の歴史、現在抱えている問題等を取り上げて紹介しました。

受講者の皆さんには「干潟」という場所があまり身近ではなくイメージできない様子だったので、川から流れてきた土砂が海と合流する場所に堆積してできた陸地であることを説明しました。

干潟には、多様な生き物が住んでいる他にも生物生産機能や親水機能等の働きがあることを紹介し、浄化機能については、干潟で水環境が浄化されるメカニズムを分かりやすく解説しました。

今から50年ほど前には、藤前干潟や名古屋港付近で漁業が盛んに行われおり、シジミ漁をはじめ牡蠣、海苔養殖の様子など、その当時の写真を見ていただきました。

このように豊かな漁場でもあった藤前干潟ですが、過去に埋め立ての危機にさらされ、市民活動によって守られた経緯を説明し、守られた以降もゴミ問題を中心とした諸問題を抱えていることを伝えました。

講義終了後には、野外にて干潟と野鳥観察をしていただき、自然を体で感じていただきました。皆さんは、講義で紹介された鳥類や魚類を見て「干

潟にこれほど多くの種がいるとは思わなかった」と驚いている様子でした。実際に干潟を見つめることで、その魅力や守る価値があることを、より実感していただけたのではないでしょうか。



*講義の様子

◆概要◆

実施日時:平成24年11月30日(金)10:00~12:00

場所:稻永ビジターセンター

対象:なごや環境大学受講者等(計13名)

対応:名古屋自然保護官事務所職員2名

◆講義内容◆

タイトル	藤前干潟の現状と多様な生物
1. 藤前干潟とは?	<ul style="list-style-type: none">・潮の満ち引きのしくみ・干潟の多様な環境
2. 干潟に生息する多様な生物	
3. 干潟のはたらき	
4. 藤前干潟の歴史	<ul style="list-style-type: none">・かつては漁業が盛んな地域だった・ゴミの埋め立てから守られた・ラムサール条約に登録された
5. 藤前干潟が抱える問題	
6. センターの使われ方	

2012年11月30日

名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 上野 淳一